

校内研修計画

山梨市立日川小学校

1 本校の課題

昨年度の全国学力学習状況調査の結果から、本校の課題として、国語・算数ともに、題意を正しく読み取るという力が付いていないことが挙げられる。題意を正しく読み取れないことで、条件に合った答え方ができなかつたり、問題に答えられなかつたりする様子が見られた。国語の結果をしてみると、

- ①文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと
- ②目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと
- ③目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと

といった点を改善していく必要が見られた。特に③の読むことについては、国語だけに限らず児童が筆者や問題の意図を読み取って、正しく答えることは、どの学習においても必要になる力だと考える。

また、全国学力学習状況調査の質問用紙の傾向を見ると、「読書は好きですか」という質問事項における全国の回答は、およそ70%くらいが「好き」「どちらかといえば好き」という回答をし、21年度から31年度までほぼ同じ割合が続いている。一方、「新聞を読んでいますか」という質問事項に、31年度は「ほぼ毎日読んでいる」と答えた児童は7.1%、「週に1～3回読んでいる」は12.1%、「月に1～3回読んでいる」は19.5%となっている。これらの数値は、21年度から徐々に減少傾向にある。「ほとんど、または、全く読まない」という回答は61.2%となっていて、この数値は、21年度から徐々に増加傾向にある。日川小学校においても同様の状況が見受けられ、読書は好きだが、新聞を読むことは少ない傾向がみられる。これらのことから、読書には親しみを持っていて、自分の好きなことや興味のあるものについては好んで文章を読むが、新聞など、様々な文章の形、例えば数値や資料が織り交ぜられた文章には慣れていないことがわかる。また、新聞が身の回りにないことから、新聞への慣れや親しみといったものも少ないと思われる。

前述した内容以外にも課題が見られた家庭学習においては、がんばりカードの取り組みやノートの展示などを行うことで、意欲的に取り組む児童が増えてきた。しかし、取り組み内容を見ると個人差が大きく、特に継続的に取り組んで、内容も充実している児童と、継続的に取り組めず内容も偏りがある児童の差が大きかった。児童が継続して取り組み、内容を充実させていけるような手立ての工夫が必要になる。

2 研究主題

自ら学び、豊かに表現し、深い学びに向かう児童の育成
～新聞を活用しての深い学びの実現～

3 研究主題設定の理由

昨年度までの研究成果として、対話的な活動を効果的に取り入れた授業づくりを通して、「主体的・対話的で深い学び」に向かう児童の育成を目指し校内研究をすすめることができた。対話的な活動をただの話し合いで終わらせないために、子どもたちが自分の考えを持つ時間を確保したり、対話的な活動に合ったグルーピングの仕方を工夫したりすることの重要性を学ぶことができた。

家庭学習では、がんばりカードを活用し、児童のやる気を継続させながら行うことができた。しかし、取り組み内容や習慣化などには個人差が見られ、取り組みの方法や内容を工夫する必要があることがあきらかとなった。また、全国学力学習状況調査の結果から、本校の課題となる

- ①文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと
 - ②目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと
 - ③目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと
- の3つの能力についての力をつけていきたいと考えた。

そこで、今年度は各教科の中で新聞を活用した授業実践(NIE)を行っていく。新指導要領の中でも、読解力や語彙力を養うために新聞を活用することも挙げられている。様々な文章にふれる

ことで、内容を正確に捉える読解力や語彙力、目的に応じて適切に書く記述力などの言語能力の向上を図っていききたい。また、授業だけではなく、学校内でも新聞にふれる機会を増やしたり、家庭学習にもNIEを取り入れ、新聞を児童の身近なものとし、活用していけるようにしていきたい。

NIE(Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」は、学校などで新聞を教材として活用すること。

4 研究の目標

新聞を身近なものとする環境づくりを行い、授業で新聞を活用して深い学びに向かう子どもを育てる。

5 今年度の研究の具体的内容と方法

【内容】

- ◎授業づくり…各教科において新聞を活用した授業実践を行う。
- 単元開発…新聞を活用していける単元を開発する。
- ◎環境づくり…新聞に親しみ馴染めるような環境を整える。
- 家庭学習…家庭学習の中に新聞を取り入れていく方法や内容を考える。
- 家庭学習がんばりカード（基本的な生活習慣の観点も入れる）。
- 自学ノート（家庭学習ノート）の取り組み。家庭学習の習慣化。ノート展示会などをおこなう。
- 校内での研修会をおこなう。（先生方をお願いして、短時間で実施）
- 朝学習・・・児童に実態に合った内容、系統だった学習内容
- 学級力向上

【方法】

- ・新聞を活用した授業実践を行う。
- ・全体で1本の提案授業を行い、指導主事を招聘し研究を進める。
- ・新聞を活動した一人一実践の授業を行う。
- ・3学期には、一人一実践にまとめる。(A4 2枚程度)
- ・学級力向上は、低学年は、できる範囲で取り組み、3年生以上は、レーダーチャート、スマイルアクション、アンケートを行事などに合わせて実施する。

年間研修計画

研究主任：今澤 比呂樹

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
自ら学び、豊かに表現し、深い学びに向かう 児童の育成 ～新聞を活用しての深い学びの実現～	国語「かたかなをみつけよう」	高野 恵美子	1	9月	
	国語「お話のさくしゃになろう」	鶴田 望	2	12月	
	国語「つたわる言葉で表そう」	望月 泰祐	2	1月	
	国語「世界にほこる和紙」	向山 澄	4	10月	○
	国語「新聞を読もう」	今澤 比呂樹	5	9月	
	社会「新しい文化と学問」	堀井 勝彦	6	10月	
	国語「かたかなで書くことば」	平塚すみり	特支	11月	

*上記の内容以外に、「NIE」に関わる学習会や特別支援教育の学習会を計画している。